

平成 29 年度 第 8 回理事会

日 時：平成 29 年 11 月 10 日（金） 15：30～16：15

場 所：特別会議室（つくば市）

I. 報 告

1. 商標登録の出願について【非公表資料】
2. 早期退職者の募集について
3. 平成 29 年度賃金交渉の状況について【非公表資料】
4. 第 15 回環境研究シンポジウムについて
5. カラマツ育種技術連絡会の立ち上げについて
6. 平成 29 年度上半期におけるコンプライアンス推進の取組状況について
7. 平成 29 年度コンプライアンス推進月間の取組について
8. その他
 - (1) 今後の行事予定について
 - (2) 主要行事

理 事 会 資 料

平成29年11月10日

早期退職者の募集について

このことについて、組織の年齢別人員構成を適正化し、組織の活性化を図るため、森林総合研究所等及び森林整備センターにおいて、別紙「早期退職に係る募集実施要項」に基づき、下記のとおり早期退職者の募集を実施しているのでお知らせする。

記

組織名	募集期間	募集人数	対象者（30.3.31 現在）
森林総合研究所等	29.11.8 ～ 30.1.26	3名程度	45 歳以上 60 歳未満
森林整備センター	29. 9.4 ～ 30.1.26	若干名	〃

職員の早期退職募集制度の概要

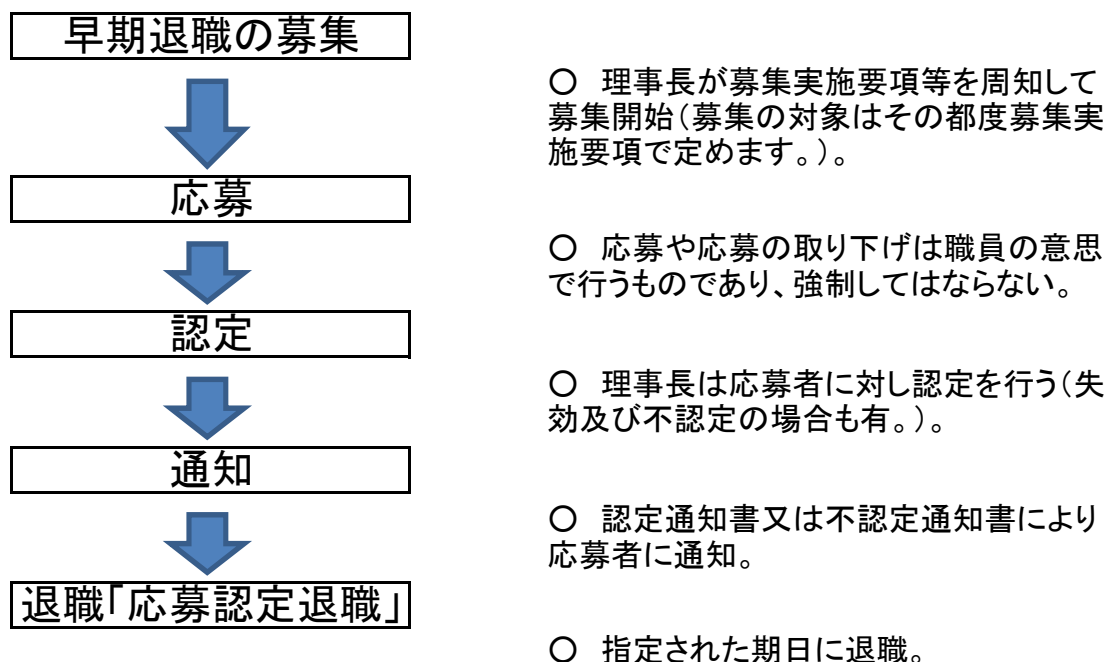
1. 目的

平均年齢が上昇している状況等を踏まえ、年齢別構成の適正化を通じた組織活力の維持等を目的として、透明性の確保された早期退職募集制度を導入する。

2. 対象

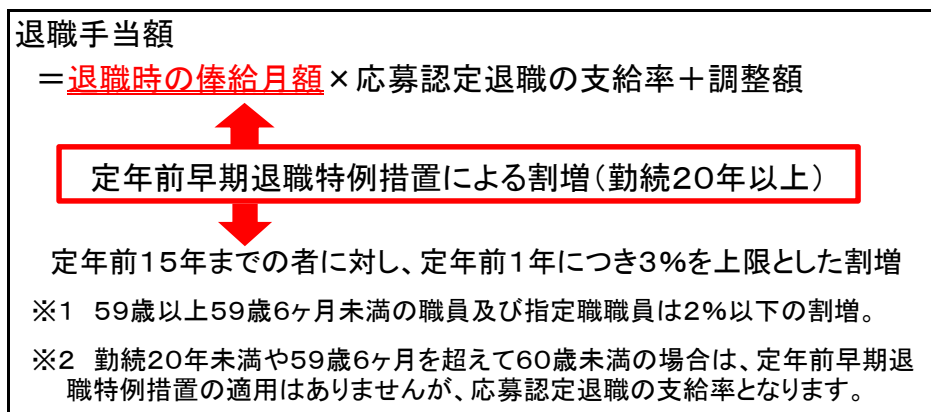
- ① 職員の年齢別構成の適正化を図ることを目的とした、45歳以上の職員を対象とする募集(1号募集)
- ② 組織の改廃又は事務所の移転を円滑に実施することを目的とした、当該組織又は事務所に属する職員を対象とする募集(2号募集)

3. 手続等(退職手当支給規程第17条の2関係)



4. 退職手当の支給

- 自己都合退職よりも割増された退職手当が支給される。



早期退職に係る募集実施要項

平成29年10月20日
国立研究開発法人森林研究・整備機構
理事長

今般、組織の年齢別人員構成を適正化し、組織の活性化を図ることを目的として、次のとおり早期退職希望者の募集（職員退職手当支給規程第17条の2第1項第1号）を行う。

1. 募集の対象

森林総合研究所、林木育種センター、森林バイオ研究センター、各支所（科学園）及び各育種場に勤務する者のうち、平成30年3月31日現在で「45歳以上60歳未満」の職員とする。

2. 募集人数

3名程度

3. 募集の期間

平成29年11月8日（水）正午から平成30年1月26日（金）正午まで。（募集開始以前の受付は行いませんので、募集の始期を厳守して下さい。）

応募人数が募集人数に達した以降の直近の16時をもって募集を締め切る。その場合は直ちに周知する。

なお、応募人数が募集人数を上まわった場合は、抽選によって決定する。（次点者まで抽選する。）

4. 退職すべき期間

原則、平成30年3月31日を退職日とする。

但し、平成30年3月30日以前の日（平成30年1月31日から平成30年3月30日まで）を退職日とする場合は、上記期間の中から退職すべき期日を定め、通知する。

なお、認定後に生じた事情により退職すべき期日に退職されると業務の能率的な運営の確保に著しい支障を及ぼすことになる場合には、その旨及びその理由を明示し、職員本人の同意を得た上で、業務の能率的な運営を確保するために必要な限度で当該期日を繰り上げ又は繰り下げることがあり得る。

5. 応募の手続き

- (1) 応募しようとする職員は、「早期退職希望者の募集に係る応募申請書」（別紙様式1）に必要事項を記入の上、募集の期間内に、下記7の応募受付宛先に受付順を確定するため電子メールの添付ファイルにて申請のうえ、押印後の原本については速やかに総務課人事係に提出する。
- (2) 選考後、認定又は不認定の通知書は、所属長を通じて交付する。
通知書は、特段の事情がある場合（指定された退職すべき期日が募集の期間内である場合等）を除き、募集の期間の末日から2週間以内に交付する。
- (3) 応募申請書の提出後、応募を取り下げたい場合には、「早期退職希望者の募集に係る応募取下げ申請書」（別紙様式2）に必要事項を記入の上、応募の場合と同様に提出する。

6. 本件に関する問合せ先

総務部総務課

課長補佐（人事・サービス担当）029-829-8154 又は人事係長 029-829-8156

E-Mail : souki-taisyoku@ffpri.affrc.go.jp

7. 応募受付宛先

6. に同じ。

※申し込みはメールのみとします。口頭及び書面での申し込みは無効となりますのでご注意ください。

（注1）次の（1）から（5）までのいずれかに該当する職員は、応募することができない。

（1）非常勤職員

（2）職員就業規則第5条の規定により任期を定めて採用された職員

（3）国等からの出向職員

（4）4.「退職すべき期間」の末日が到来するまでに定年に達する者

（5）3.「募集の期間」における募集開始日において懲戒処分（ただし、故意又は重大な過失によらないで管理又は監督に係る職務を怠った場合における懲戒処分を除く。以下同じ。）を受けている者又は募集の期間内に懲戒処分を受けた者

（注2）応募者が次の（1）から（4）までのいずれかに該当する場合には、不認定となる。

（1）この募集実施要項に適合しない場合

（2）応募後に、懲戒処分を受けた場合

（3）懲戒処分を受けるべき行為をしたことを疑うに足る相当な理由がある場合その他応募者に対し認定を行うことが当所に対する社会の信頼を確保する上で支障を生ずると認める場合

（4）引き続き職務に従事することが当所の能率的運営を確保し、又は長期的な人事管理を計画的に推進するために特に必要であると認める場合

別紙様式 1

早期退職希望者の募集に係る応募申請書

国立研究開発法人森林研究・整備機構

応募年月日

年 月 日

理事長 沢 田 治 雄 殿

応募申請者

印

私は、国立研究開発法人森林研究・整備機構職員退職手当支給規程第 17 条の 2 第 3 項の規定により、この度の早期退職希望者の募集に応募をします。

1 応募をする早期退職希望者の募集について	
募集の期間	平成 29 年 1 月 8 日から平成 30 年 1 月 26 日まで
退職すべき 期日又は期間	平成 30 年 3 月 31 日
備 考	

2 応募申請者について			
ふりがな 氏 名		所 属	
		職 名	
級号俸	俸給表 [] 級 号俸		
生年月日	年 月 日	年 齢	歳

(注) 応募申請時現在で記入すること。

受理年月日時	年 月 日 時 分	受理番号	
--------	-----------	------	--

別紙様式 2

早期退職希望者の募集に係る応募取下げ申請書

国立研究開発法人森林研究・整備機構 取下げ年月日 年 月 日

理事長 沢 田 治 雄 殿 取下げ申請者 印

私は、国立研究開発法人森林研究・整備機構職員退職手当支給規程第 17 条の 2 第 3 項の規定により、早期退職希望者の募集に係る応募申請を取り下げます。

1 取下げ申請をする早期退職希望者の募集について			
募集期間	平成 29 年 11 月 8 日から平成 30 年 1 月 26 日まで		
退職すべき 期日又は期間	平成 30 年 3 月 31 日		
2 取下げ申請者について			
ふりがな		所 属	
氏 名		職 名	
3 認定について			
認定通知書に記載された 認定年月日	年 月 日		
退職すべき期日又は期間			

(注)「3 認定について」欄は、取下げ時点において認定を受けている場合に記入すること。また、このうち「退職すべき期日又は期間」欄には、取下げ時点において退職すべき期日が既に通知されている場合はその期日を、それ以外の場合は退職すべき期間を記入すること。

受 理 年 月 日	年 月 日
応募申請書の受理番号	

早期退職に係る募集実施要項

平成29年9月1日
国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター所長

今般、組織の年齢別人員構成を適正化し、組織の活性化を図ることを目的として、次のとおり早期退職希望者の募集（職員退職手当支給規程第17条の2第1項第1号）を行う。

1. 募集の対象

森林整備センターに勤務する者のうち、退職日において「45歳以上60歳未満」の職員とする。

2. 募集人数

若干名

3. 募集の期間

平成29年9月4日（月）正午から平成30年1月26日（金）正午まで。（募集開始以前の受付は行いませんので、募集の始期を厳守して下さい。）

4. 退職すべき期間

原則、平成30年3月31日を退職日とする。

但し、平成29年9月30日から平成30年3月30日までを退職日とする場合は、退職すべき期日を定め、通知する。

なお、認定後に生じた事情により退職すべき期日に退職されると業務の能率的な運営の確保に著しい支障を及ぼすことになる場合には、その旨及びその理由を明示し、職員本人の同意を得た上で、業務の能率的な運営を確保するために必要な限度で当該期日を繰り上げ又は繰り下げることがあり得る。

5. 応募の手続き

(1) 応募しようとする職員は、「早期退職希望者の募集に係る応募申請書」（別紙様式1）に必要事項を記入の上、募集の期間内に、受付順を確定するため電子メールにて後述「7. 応募受付宛先」に上記応募申請書を添付し申請するとともに、押印した原本については労務課人事係に提出する。

(2) 選考後、認定又は不認定の通知書は、所属長を通じて交付する。

通知書は、特段の事情がある場合を除き、募集の期間の末日から2週間以内に交付する。

(3) 応募申請書の提出後、応募を取り下げたい場合には、「早期退職希望者の募集に係る応募取下げ申請書」（別紙様式2）に必要事項を記入の上、応募の場合と同様に提出する。

6. 本件に関する問合せ先

森林管理部労務課人事係（園田・高倉）

TEL：044-543-2505

E-Mail：center-jinji@green.go.jp

7. 応募受付宛先

6. に同じ。

(注1) 次の(1)から(5)までのいずれかに該当する職員は、応募することができない。

- (1) 非常勤職員
- (2) 職員就業規則第5条の規定により任期を定めて採用された職員
- (3) 国等からの出向職員
- (4) 4.「退職すべき期間」の末日が到来するまでに定年に達する者
- (5) 3.「募集の期間」における募集開始日において懲戒処分（ただし、故意又は重大な過失によらないで管理又は監督に係る職務を怠った場合における懲戒処分を除く。以下同じ。）を受けている者又は募集の期間内に懲戒処分を受けた者

(注2) 応募者が次の(1)から(4)までのいずれかに該当する場合には、不認定となる。

- (1) この募集実施要項に適合しない場合
- (2) 応募後に、懲戒処分を受けた場合
- (3) 懲戒処分を受けるべき行為をしたことを疑うに足る相当な理由がある場合その他応募者に対し認定を行うことが当機構に対する社会の信頼を確保する上で支障を生ずると認める場合
- (4) 引き続き職務に従事することが当機構の能率的運営を確保し、又は長期的な人事管理を計画的に推進するために特に必要であると認める場合

理事会資料

平成 29 年 11 月 10 日

第 15 回環境研究シンポジウムについて

第 15 回環境研究シンポジウム「持続可能な生産と消費～資源循環型社会の構築をめざして」が下記の日程で行われ、森林研究・整備機構から口頭 1 件、ポスター 8 件の発表があります。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時及び場所

平成 29 年 11 月 22 日（水） 12:00～18:00

一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内）

2. 行事の内容

環境研究を行う 13 研究機関で構成される環境研究機関連絡会による 13 件の講演、約 100 件のポスター発表により、各研究機関の最新の成果が発表されます。

3. 申込方法

<https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/>

より参加各人がウェブ上で登録してください。

理 事 会 資 料
 林 木 育 種 セ ン タ ー
 平成 29 年 11 月 10 日

カラマツ育種技術連絡会の立ち上げについて

1. 趣旨

- (1) 我が国の人工林面積及び蓄積において、スギ及びヒノキについて第3位を占めるカラマツは、近年、その強度特性や成長特性によるエンジニアリングウッド等としてのニーズの高まりから、伐採・利用が進んでおり、その後の再造林に必要な苗木の需要が増加しつつある。
- (2) これに対し、カラマツの種子生産には顕著な豊凶がみられるなど、その安定的な種苗の供給のための技術開発が課題となっていることから、森林総合研究所林木育種センターでは、関係道県等との共同研究により、カラマツ採種園における種苗の生産能力の強化等に関する研究開発を進めているところである（別紙参照）。
- (3) これらの成果について、種苗生産及び造林の現場への「橋渡し」を円滑かつ効果的に進めていくため、これら研究成果の情報発信や関連する苗木生産等に係る技術情報の提供、関係者相互の情報交換等を行うことを目的として、これまで育種基本区ごとに設置・運営してきた特定母樹等普及促進会議及び林木育種連携ネットワークに加え、これら育種基本区をまたがる形で、新たにカラマツの育種及び造林に関わる森林管理局、道県、道県林試等の関係者をメンバーとする「カラマツ育種技術連絡会」を立ち上げる。

2. 会員(予定)

- (1) 森林管理局
 北海道、東北、関東、中部の各森林管理局の担当職員
- (2) 都道府県の担当職員（行政、試験研究機関）
 北海道、岩手県、群馬県、山梨県、長野県等
- (3) 森林総合研究所
 林木育種センター、育種場、関係領域等の職員
- (4) その他カラマツ育種に関係する公的機関の職員

3. 主な活動内容

- (1) カラマツ種苗の生産等に関する研究成果、カラマツ優良品種や特定母樹等に関する情報の発信
- (2) カラマツ採種園の造成・管理、その他苗木生産等に係る技術情報の提供や研修会等の開催
- (3) 会員相互の情報交換の促進

4. 今後の進め方

- (1) 会員募集：平成 29 年 11 月
- (2) メーリングリストの作成及び運用開始：平成 29 年 12 月
- (3) メールマガジン創刊号の発行：平成 30 年 1～2 月

カラマツの安定的種苗生産に向けた技術開発

1. カラマツ需要の高まりと苗木不足

カラマツは成長が早く、材の強度が高く、心材の含水率が低いため、材積成長が旺盛で、かつ乾燥コストが少ない樹種です。かつては乾燥時のねじれや割れが問題視されましたが、乾燥技術の進歩によりこの欠点はほぼ克服され、優れた性能を持つカラマツは、今日では外材に対抗しうる樹種と期待されています。今後カラマツの伐採と、その後の再生林が拡大すると予想されていますが、カラマツ種苗の不足が問題となっています。

2. カラマツ苗の不足は種子不足

スギでは、ジベレリン処理により容易に着花を促進する技術がありますが、カラマツではそのような技術が十分に確立していないため、種子生産は多くの場合自然任せです。元来、カラマツの種子生産には豊凶があるため、苗木不足の問題解決には種子の安定的生産技術が必要です。

3. 3つのステップでの技術開発

このようなカラマツの種苗不足を解消することを目的として、今年度より、農

林水産技術会議の革新的技術・緊急展開事業（地域戦略プロジェクト）として、林木育種センターが代表機関となり、北海道、青森県、岩手県、群馬県、山梨県、長野県の各林業試験研究機関、岡山県生物科学研究所、宮崎大学、北海道山林種苗協同組合、雪屋媚山商店とコンソーシアムを形成し、「カラマツ種苗の安定供給のための技術開発」（平成28～30年度）に着手しました。このプロジェクトでは、1）着花促進、2）種子生産、3）苗木増殖の3つのステップを設け、それぞれの段階で技術開発に取り組むことにしました。

着花促進では、光や水分、物理刺激、施肥などの条件をコントロールすることによって着花を促進する技術を、種子生産では、採種時期の最適化と採取作業の機械化を、苗木増殖では、さし木技術により1つの種子から複数の苗木を育成する技術を開発し、開発した技術を各地域の状況に応じて組み合わせることにより苗木の生産性を高め、今後のカラマツ林業の発展に貢献することを目標としています。

（育種部 育種第一課 高橋誠）

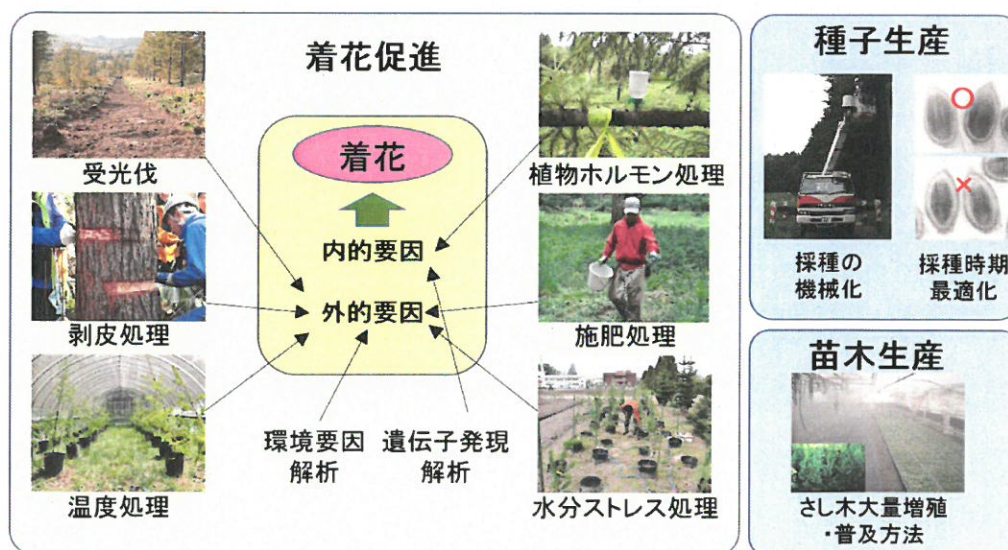


図1 カラマツ種苗の安定供給のための技術開発の課題構成の概要

出典：林木育種情報第23号

理 事 会 資 料
平 成 2 9 年 1 1 月 1 0 日
森 林 整 備 セ ン タ ー

平成29年度上半期におけるコンプライアンス推進 の取組状況について

平成29年度における森林整備センターのコンプライアンス重点取組方針は以下のとおりであり、本部の各セクション及び各整備局・水源林整備事務所毎にこの方針の下、それぞれが工夫した取組を実践しながらコンプライアンスの推進に取り組んでいる。

下半期においても引き続き取り組み、その取組結果・実施状況については、コンプライアンス推進委員会において点検・評価した上で、次年度の取組方針へ反映させる。

○平成29年度 重点取組方針

1. 職場内ディスカッション

- 1) 「緑の行動規範」を活用した職場内学習
- 2) 社内報「コンプライアンス便り」やコンプライアンス違反事例等による意見交換
- 3) 「危険予知確認表」を参考にコンプライアンスに抵触する可能性について議論

【取組状況】

- ・「緑の行動規範」、「コンプライアンス・ハンドブック」を活用して、組織の使命、目標、方針及び行動指針の再確認を行った
- ・ニュースレターの記事を基に意見交換を行い、公共事業に携わる整備センター職員としてコンプライアンスを意識した業務遂行の重要性を再認識した
- ・「危険予知確認表」から、各職員が重要だと考える項目（2項目）を、その選定理由を付し発表し、コンプライアンスに抵触する可能性等について議論した

2. 研修等の計画的実施

- 1) 外部講師による倫理に関する研修の実施
- 2) eラーニングを活用した研修の実施
- 3) 地域毎に開催されるコンプライアンスに係る各種会議・研修等への積極的参加

【取組状況】

- ・以下の階層別研修等でコンプライアンス研修を実施
新規採用職員研修、局長・事務所長会議、コミュニケーション・セミナー、新規採用フォローアップ研修、
新任管理職研修、新任係長研修、9.1採用職員研修、著作権セミナー、eラーニング研修

3. 風通しの良い職場環境づくり

- 1) 「明るく楽しく前向きな組織」を目指したコミュニケーションの活性化
- 2) 「公益通報・苦情相談窓口」の周知徹底

【取組状況】

- ・職場内の仲間意識を高めるとともに、話し手聞き手のスキルアップを図るため、自身の紹介を兼ねたスピーチを行った
- ・業務多忙のなかにあっても計画性をもって業務に従事し、月1回以上の年休取得を促進した
- ・問題を「生まない」「育てない」「見逃さない」体制構築の一助となるよう、公益通報・苦情相談窓口を明記した「掲示ビラ」を作成し、各事務所の職員が見やすい箇所に掲示し周知を図った

4. 各職場毎の取組計画

各職場の月間取組目標を定め、その取組結果を本部に四半期毎に報告・共有

【取組状況】

- ・各職場における第2四半期までの取組目標及び結果については、幹部会に報告するとともに各職場に配信し情報共有を図った

理 事 会 資 料
平 成 2 9 年 1 1 月 1 0 日
森 林 整 備 セ ン タ ー

平成29年度コンプライアンス推進月間の取組について

コンプライアンスの推進・強化を図るため、11月をコンプライアンス推進月間に設定し、この期間内に全役職員等を対象とするコンプライアンス研修をeラーニングシステムを活用し実施することとした。

なお、eラーニングによる研修は、役職員等が都合の良い時に受講することが可能で日常業務への影響も少なく、効果的かつ効率的な知識の習得と意識の醸成につながるものと期待している。

1. 実施期間

平成29年11月1日（水）～24日（金）

2. 実施対象者

全役職員（非常勤職員及びフルタイム契約者を含む）

3. 研修方法

上記実施期間内に各自が自身の登録されているPCを使用してeラーニングシステムにログインを行い、実施対象者全員が以下の受講内容を順次受講する。

4. 研修受講内容

(1) 基本三原則の理解度確認

緑の行動規範基本三原則（法令遵守、倫理意識、社会正義）の理解を深めるため、コンプライアンスハンドブック等から三原則にかかわる記述について、穴埋め形式により出題する（設問12問）。

(2) 利害関係者との適切な関係

本年5月の整備局長・水源林整備事務所長会議において「職員の職務に係る倫理の保持」をテーマにコンプライアンス研修を実施したところであるが、公共事業を実施する機関に勤務する者としての責務を十分自覚し倫理意識の一層の向上を図るため、国家公務員倫理規程質疑応答集から利害関係者との間における禁止行為について、選択形式（2択）により出題する（設問7問）。

(3) コンプライアンス全般に関する理解度確認

著作権の取り扱い等コンプライアンス全般に関わる理解を深めるため、ビジネスコンプライアンス検定（初級）のサンプル問題から、選択形式（4択）により出題する（設問7問）。

理 事 会 資 料
平成29年11月10日

今後の行事予定について

月 日	研 究	水 源	保 険	行 事 名 等	場 所
11月1日	○	○	○	森林研究・整備機構創立記念式典	森林総合研究所
11月7日	○	○	○	平成29年度 機構評議会	森林総合研究所
11月7日～8日	○	○	○	平成29年度 第2回機構会議等会議	森林総合研究所
11月8日～9日	○			「REIFふくしま2017（第6回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア）」	ビッグパレットふくしま（郡山市）
11月10日	○	○	○	第8回理事会	森林総合研究所
11月15日	○	○		九州地区特定母樹等普及促進会議	大分県玖珠土木事務所（玖珠町）
11月13日～15日	○			会計実地検査	森林総合研究所
11月22日	○	○		第15回環境研究シンポジウム	学術総合センター 一橋講堂（千代田区）
11月24日～26日	○			漆サミット2017 in 鎌倉 主催：日本漆アカデミー	鶴岡八幡宮直会館、鎌倉彫会館 他（鎌倉市）
11月30日	○			第3回育種運営会議	林木育種センター（日立市）
12月1日	○			関西支所研究推進業務報告会	関西支所
12月5日	○			九州支所共同特殊実験棟建替（CLTパネル工法） 現地見学会	九州支所
12月7日～8日	○			平成29年度 企画連絡会議	森林総合研究所
12月8日	○	○	○	第9回理事会	林木育種センター

主要行事(平成29年10月13日～平成29年11月9日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
10月13日(金)	【共】第7回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
16日(月)	第2回 森林整備センターリスク管理委員会	森林業務担当理事、法令遵守担当理事
16日(月) ～17日(火)	近畿中国森林管理局表敬、関西支所・近畿北陸整備局視察	理事長
16日(月) ～17日(火)	林業研究・技術開発推進四国ブロック会議	企画・総務・森林保険担当理事
17日(火)	【研】水戸税務署長来訪(試験酒類製造免許交付)	研究担当理事
18日(水)	【研】SIPリグニン2017公開シンポジウム	理事長
20日(金)	【共】監査法人とのディスカッション	両監事
20日(金)	【共】監査法人とのディスカッション	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、育種・森林バイオ担当理事、森林業務担当理事、森林保険センター所長
21日(土) ～22日(日)	【研】中部森林学会	研究担当理事
21日(土)	【育】親林のつどい	育種・森林バイオ担当理事
22日(日)	【研】グリーンフェスティバル	理事長
24日(火)	【研】公開講演会	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事、両監事
25日(水)	JICA-JAXA森林セミナー	理事長
26日(木)	産業技術総合研究所AI研究センター	理事長
27日(金)	【研】IUFRO Jerry Vanclay教授来訪	研究担当理事
27日(金)	【保】森林保険運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長、両監事
27日(金)	【整】森林整備センター事業運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事、両監事
31日(火)	【保】森林保険制度創設80周年記念シンポジウム	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、森林保険センター所長
31日(火)	【整】森林整備センターシンポジウム	研究担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事、鈴木監事
11月1日(水)	【共】創立記念式典	理事長・理事・森林保険センター所長、鈴木監事
2日(木)	第5回「合板の日」記念式典	理事長
6日(月)	庁議	理事長
7日(火)	全国林業経営推奨行事賞状伝達・贈呈式	企画・総務・森林保険担当理事
7日(火)	【研】第2回研究所支所意見交換会	研究担当理事
7日(火)	【共】機構評議会	理事長・理事・監事
7日(火)	【共】第2回機構会議	理事長・理事・監事
8日(水)	第2回産学官民・国際連携推進本部会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種・森林バイオ担当理事、鈴木監事
8日(水)	地域情勢交換会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種・森林バイオ担当理事
9日(木)	全国木材産業振興大会	企画・総務・森林保険担当理事
9日(木)	【研】マレーシア サラワク林業公社CEO来訪	理事長、研究担当理事

※【研】: 森林総合研究所、【育】: 林木育種センター、【整】: 森林整備センター、【保】: 森林保険センター、【共】: 共通の行事の略